

# 2019-2023

魅力的で活力あふれる

龍の里づくり事業

調査研究報告書



龍の里づくり委員会

**魅力的で活力あふれる龍の里づくり事業**

**調査研究報告書**

# 目 次

<b>I 調査研究報告について</b> . . . . .	<b>1</b>
1. 調査研究の背景及び目的 . . . . .	2
2. 5本の調査研究の柱と龍神ブランドを活用したプロジェクトの提案 . . . . .	3
3. 調査研究報告の対象期間 . . . . .	4
4. 具体的な取組の提案について . . . . .	4
<b>II 調査研究報告</b> . . . . .	<b>5</b>
<b>1 5本の調査研究の柱についての検討</b> . . . . .	<b>6</b>
1. 龍神ブランド構築の検討 . . . . .	6
取組No.1-1 龍神ブランドのロゴマーク及びキャッチフレーズの作成 . . . . .	10
取組No.1-2 龍神ブランドの基準づくりと認定制度の検討 . . . . .	11
取組No.1-3 キャッシュレス環境整備の推進 . . . . .	12
取組No.1-4 旅客運送サービスの整備 . . . . .	13
取組No.1-5 「龍神そば街道」の推進 . . . . .	14
取組No.1-6 レンタサイクル事業の整備 . . . . .	15
取組No.1-7 龍神材を活用した木製看板等の設置推進 . . . . .	16
取組No.1-8 龍神温泉街の道路修景整備 . . . . .	17
取組No.1-9 アート作品や創作品等が楽しめる場と景観づくりの推進 . . . . .	18
取組No.1-10 伝統的食文化の保存・継承 . . . . .	19
2. 新たなUJIターン施策の検討 . . . . .	20
取組No.2-1 移住希望者向け生活情報等の発信 . . . . .	20
取組No.2-2 移住体験住宅の整備 . . . . .	21
3. 既存イベントの整理・見直し . . . . .	22
取組No.3-1 既存イベントの整理・見直し . . . . .	23

4.	効果的な情報発信の在り方の検討	24
	取組No.4-1 龍神村の情報を集めたハブとなるウェブサイトの構築	25
	取組No.4-2 SNSを活用した情報発信	26
	取組No.4-3 村内施設周遊チケットの作成・販売	27
	取組No.4-4 看板や案内表示板等の多言語表示の推進	28
	取組No.4-5 農林産品販売情報の充実	29
	取組No.4-6 大阪芸術大学との連携	30
5.	空き家・遊休施設の活用の検討	31
	取組No.5-1 遊休施設等を活用した龍に関する展示施設の整備	31
	取組No.5-2 龍神版「アルベルゴ・ディフーズ」(分散型ホテル)の検討	33
<b>2</b>	<b>龍神ブランドを活用したプロジェクトの提案</b>	<b>34</b>
	取組No.6-1 「(仮称)株式会社龍神村」の設立	34
	取組No.6-2 幻の熊野古道「奥辺路ルート」の再整備	36
	取組No.6-3 森林ツーリズム事業の実施	42
	取組No.6-4 森林等を活用した自然共生型アウトドアパークの整備	43
	取組No.6-5 「(仮称)龍王易開発事業」の実施	44
	取組No.6-6 木糸・木布活用手芸開発事業の実施	45
	魅力的で活力あふれる龍の里づくり事業 取組一覧表	46
	龍の里づくり委員会構成図	

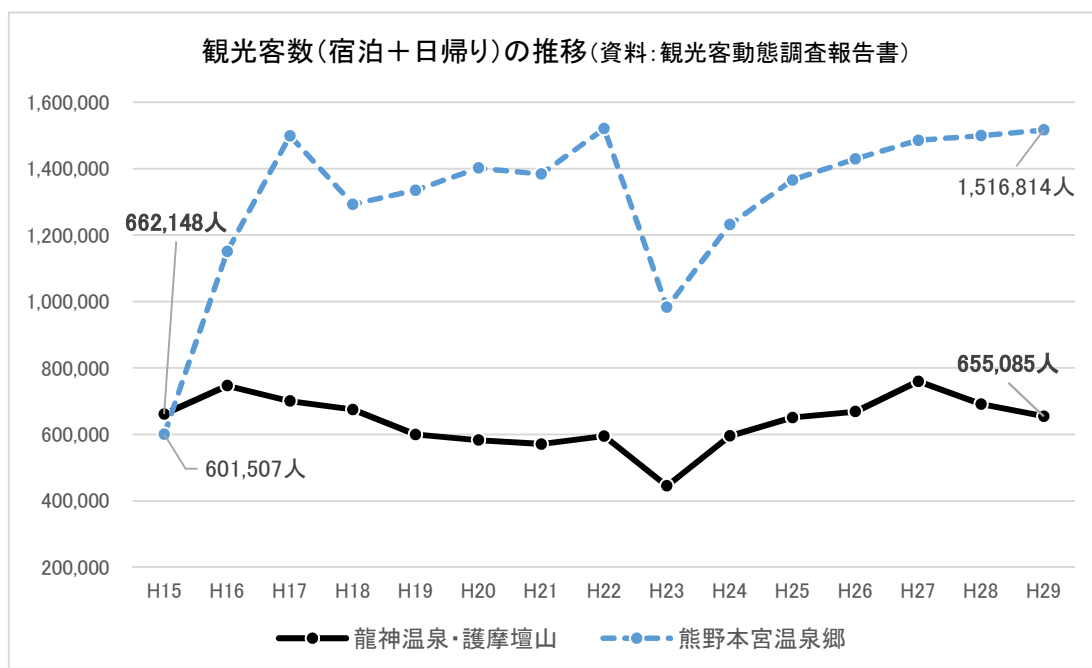
# **I 調査研究報告について**

# I 調査研究報告について

## 1. 調査研究の背景及び目的

龍神村の産業は、人口減少や超高齢化を背景とした社会構造の急激な変化の中、依然として厳しい状況に置かれています。

また、県や市において「紀伊山地の霊場と参詣道」という世界遺産ブランドを中心としたPR活動が積極的に行われる中、世界遺産の指定地域から外れている当地域は、観光振興施策の潮流から取り残されてしまうという地元からの不安の声も大きくなってきています。



本報告書は、こうした背景のもと、より魅力的で活力あふれる「龍の里」を創造し発信していくことを目的として発足した「龍の里づくり委員会」が、龍神村の地域文化を育んできた農林業、龍神温泉等の良質な温泉を中心とした観光業、これまでのIターン施策等により定住している芸術家・作家の皆さんによるものづくりの活動等、村が有する豊かな資源を最大限に活かした地域産業の振興と移住・定住の促進を図っていくための調査研究成果をまとめたものです。

## 2. 5本の調査研究の柱と龍神ブランドを活用したプロジェクトの提案

「魅力的で活力あふれる龍の里」の創造に向け、田辺市が設定した5本の調査研究の柱及び龍神村の資源を活かしたプロジェクトの提案を行っています。

### 1 5本の調査研究の柱についての検討

#### (1) 龍神ブランド構築の検討

温泉・地域産品・料理・創作品等の龍神村が持つ魅力的な素材を掘り起こすとともに、掘り起こした素材を「龍神ブランド」として統一し、地域内外で共有・発信する方法を検討・提案しています。

#### (2) 新たなUJIターン施策の検討

これまでの旧龍神村国際芸術村やアトリエ付き住宅、合併後の移住定住受入支援等を検証するとともに、新たな移住・交流施策について検討・提案しています。

#### (3) 既存イベントの整理・見直し

これまで行われてきたイベントが、地域外との交流促進と龍神村の魅力発信の場として、より効果的なものとなるよう、「龍神ブランドの統一性」との整合性を含めた整理・見直しについて検討・提案しています。

#### (4) 効果的な情報発信の在り方の検討

龍神ブランドとして統一された様々な素材を、シティプロモーションやSNSなどの媒体を利用して効果的に情報発信していく方法について検討・提案しています。

#### (5) 空き家・遊休施設の活用の検討

龍神村に存在する空き家や遊休施設を、龍神ブランドの展示紹介、体験・創作者情報、移住交流支援情報などの新たな龍神の魅力発信拠点としていくとともに、龍の里へ誘う導入拠点として位置付け、活用していく方法を検討・提案しています。

## 2 龍神ブランドを活用したプロジェクトの提案

龍神村の優れた地域資源を活かした新しい取組について検討・提案しています。

### 3. 調査研究報告の対象期間

本調査研究報告の対象期間は平成31年度から平成35年度の5年間とします。

なお、調査研究報告の内容は、龍の里づくり委員会において毎年点検するものし、社会情勢の変化や事業の進捗等に応じ、柔軟に見直しを行うものとします。

### 4. 具体的な取組の提案について

本報告書では、魅力的で活力あふれる龍の里づくりを推進するための具体的な取組を提案しています。

各取組は市及び関係団体等が連携・協働して実施することを基本としますが、本報告書の実効性を高めるため、想定される実施主体（市、龍の里づくり委員会、各種団体、NPO法人、株式会社等）を明確化しています。

また、取組年次は、取組内容の優先度や取り組みやすさの度合いにより、次のとおり区分しています。

- 短期 . . . 1～2年
- 中期 . . . 3～4年
- 長期 . . . 5年以上かかるもの

※ いずれも引き続き実施する取組を含みます。

## II 調查研究報告

## II 調査研究報告

### 1 5本の調査研究の柱についての検討

田辺市が設定した5本の調査研究の柱について、龍神村の魅力を整理するとともに、その魅力を活かした取組を提案しました。

#### 1. 龍神ブランド構築の検討

##### (1) 背景

龍神村は、地域の文化を育んできた農林業、龍神温泉をはじめとした良質な温泉、芸術家・作家の皆さんによる多彩な作品など多くの優れた資源を有しているにも関わらず、広報が不十分であったり、それぞれが独自の情報発信に留まっていたりすることから、資源の魅力が龍神村全体の魅力発信につながっていないのが現状です。

そのため、これらの資源を龍神村が育む統一したブランドとして構築し、地域内外に向けて発信していく必要があります。

##### ① 龍神村の地域資源の掘り起こし

龍神ブランド構築に当たり、龍神村が持つ魅力（地域資源）を次のとおり整理しました。

##### ア. 自然に囲まれた体験・暮らしができる村

龍神村は、県内最高峰の龍神岳（標高1,382m）をはじめ、護摩壇山、城ヶ森山等の1,000m級の山々に囲まれています。また、村の中心部を流れる日高川及びその支流である小又川や丹生ノ川などの河川、小森谷溪谷や檜皮の滝などの豊かな自然を有しています。

こうした環境を背景に、鮎やアマゴなどの釣りや紅葉や山野草、蛍、樹氷、雪遊び、ハイキングやトレッキングなど、季節に応じた体験ができます。

また、人と自然との関わりの中でつくられた棚田や吊り橋、里山など、山で生きる龍神の人々の知恵や文化を感じさせてくれる風景が今も残っています。

##### イ. 魅力ある温泉や見どころがある村

龍神村は、龍神温泉をはじめとした良質な温泉を中心とした観光で栄えてきました。

千三百年の歴史を誇り、紀州歴代藩主たちの保護を受け湯治場として栄えてきた龍神温泉は、泉質の良さから「日本三美人の湯」の一つと称されており、温泉街には国の登録有形文化財である上御殿をはじめ、歴史ある旅館が軒を連ねています。

ほかにも小又川温泉、丹生ノ川温泉、釜ノ崎温泉といった良質の温泉と、それぞれの温泉の特色を活かしたキャンプ場やバンガロー、民宿などの施設が整備されています。

道の駅には「ごまさんスカイタワー」、「龍神（ウッディプラザ木族館）」、「水の郷日高川龍遊」があり、村を自動車やバイクで訪れる人たちに利用されています。

#### ウ. 豊かな恵みをもたらす農林業の村

龍神村は、豊富な森林資源に恵まれた県下でも有数の林業地域です。

杉や桧を中心とした龍神材は年輪が細やかで木目が美しいと高い評価を受けており、住宅などの建築材のほか、個性的な家具やチェンソーアートなどの材料としても利用されています。

また、農家による伝統的な米や野菜づくりに加え、近年そば生産の取組も始まっています。

#### エ. 伝統的な食と新しい食の両方が体験できる村

龍神村では伝統的な食と新しい食のどちらも体験できます。

伝統的な食としては、地元の米や野菜、果実、梅、しいたけ等のきのこ類、芋類、漬物、柚べし、こんにゃく、山菜（ごんぱち、ふき、わらび、タラの芽など）、鮎やアマゴなどの川魚等を使った田舎料理、おかいさん（茶がゆ）、番茶などがあり、素朴な中にも上質で優しい味を楽しむことができます。

新しい食としては、I ターンで定住した料理人の皆さんによるフレンチやイタリアン、ピザ、地釜パン、昔の製法を再現している地釜豆腐のほか、龍神の素材を活かした蕎麦、味噌、酢、さといも焼酎、しいたけバーガー、柚子・梅加工品などが楽しめます。

また、クレソン、わさび菜、ブルーベリー、香り米等の無人販売や、猪・鹿等のジビエ、龍神地鶏等を活用する動きも進んできています。

#### オ. 様々な人が集い、創作が行われる村

龍神村は、平成 17 年 5 月の平成の大合併以前の「龍神国際芸術村構想」等を通じ、U J

I ターン者の移住・交流施策を積極的に取り組んできました。

このような取組もあり、地域には専門的な知識や技術を有する人々が多く定住しており、山路紙（手漉き和紙）、チェンソーアート、木工家具、美術刀剣、エアブラシアート、切絵、藍染、糸紡ぎ、イラスト、絵本、写真・映像、竹細工など様々な作品が創作され、地域内外から高い評価を得ています。

#### カ. 長い歴史と伝説がある村

龍神村には、悠久の歴史と伝説が今も息づいています。

弘法大師ゆかりの龍神山温泉寺、幕末の悲劇の舞台となった天誅倉、小説「大菩薩峠」の主人公・机龍之介が洗眼したという曼陀羅の滝などの史跡が点在しています。また、平維盛伝説、出合いの淵の河童伝説、安倍晴明と笠塔山伝説といった伝説も残っています。

#### キ. 季節の祭やイベントが楽しめる村

龍神村には、季節毎に楽しめる数多くの地域の祭やイベントがあります。

11 月には村最大の催しである翔龍祭（林業まつり・村民文化祭）が開催されるほか、村内各地で太鼓や竹笛の音が鳴り響く歴史情緒豊かな秋祭りが繰り広げられます。

そのほかにも高野山・龍神温泉ウルトラマラソン、龍神温泉木の郷マラソン大会、南国紀州の雪あそび、田んぼアート、どらごん縁日、観燈祭、関西実業団対抗駅伝競走大会、龍神村ホテル祭り等、多くのイベントや取組が行われています。

#### ク. 優れた「手しごと」の村

龍神村の人々により丹精込めて作られた農林産品、観光の大きな魅力のひとつであるおもてなし、豊かな食や個性的なものづくり・・・龍神村は優れた「手しごと」の村であるとも言えます。

### ② ブランド化の取組の推進

龍神村の地域資源をブランドとして地域外に発信していくためには、地域資源そのものの価値の向上を図ることはもちろんですが、それに見合った質の高いインフラやサービスが提供されなければ、訪れた人の満足度の向上につながりません。

「龍神村に来てよかった」「龍神村に泊まってよかった」「龍神村のものを買ってよかった」と言ってもらえるような取組をさらに推進する必要があります。

## (2) 具体的な取組の提案

### 取組No. 1－1 龍神ブランドのロゴマーク及びキャッチフレーズの作成

---

#### [現況と課題]

龍神村の優れた地域資源をブランド化し、「選ばれる村」にしていくためには、これまで「点」で発信していた地域素材を、龍神村の統一イメージによる「面」でつなぎ、地域外の皆さんに対し、わかりやすく発信して行く必要があります。

そのためには、まず地域内で資源と龍神ブランドの価値を共有し、住民の皆さんからの愛着を高めて、浸透させていく取組も併せて行うことが重要となります。

#### [取組主体]

龍の里づくり委員会、龍神村商工会、龍神観光協会 等

#### [取組年次]

短期

#### [取組概要]

1. 地域外に向けて発信できるわかりやすい龍神ブランドのロゴマークとキャッチフレーズを作成します。

ロゴマークの作成に当たっては、大阪芸術大学と連携して取組を進めるとともに、村民投票による最終選考を行うなど、住民の皆さんに愛着を持ってもらえる手法を検討します。

2. ロゴマーク及びキャッチフレーズが各種印刷物や看板等に広く活用される方法を検討します。

## 取組No. 1－2 龍神ブランドの基準づくりと認定制度の検討

---

### [現況と課題]

龍神村の地域素材をブランド化し地域外に発信していくためには、「良いもの」をブランド化することにより、ブランドの信頼性を高め、ブランドそのものの価値を高めていくことが重要になります。

そのためには、例えば「原材料に龍神産のものを〇%以上使っている」「龍神村内で加工・製造している」等の基準を設定し、それを満たしたものだけを「龍神ブランド」として認定するなど、一定の基準づくりと認定制度及び認定・監視機関の設置検討が必要となります。

### [取組主体]

龍の里づくり委員会、龍神村商工会、龍神観光協会 等

### [取組年次]

短期

### [取組概要]

1. 関係機関で連携し、龍神ブランドの基準づくりを推進します。
2. 龍神ブランド認証の適正な運用と制度の信頼性を高めるための認定・監視機関の設置を検討します。
3. 龍神ブランドの効果的な情報発信方法を検討します。

## 取組No.1－3 キャッシュレス環境整備の推進

---

### [現況と課題]

龍神村においては、クレジットカード、デビットカード、電子マネー等によるキャッシュレス決済は、仕組のわかりづらさ、システム導入の際の初期費用、決済のたびに発生する手数料や現金の入金に時間がかかる等の問題から、あまり導入が進んでいないのが実態です。

しかし、決済をキャッシュレス化することによって、訪問者の利便性向上、インバウンド消費の拡大や購買データの利活用等による新たなサービス創出等が期待されます。また、近年では安価で導入できるサービスの提供も見られるようになってきました。

こうしたなか、宿泊施設や飲食店、商店等におけるキャッシュレス環境の推進を図る必要があります。

### [取組主体]

龍の里づくり委員会、龍神村商工会、龍神観光協会、各金融機関 等

### [取組年次]

短期～中期

### [取組概要]

1. 県等が主催するキャッシュレス決済に関する研修会等への参加を関係団体等に呼びかけます。
2. 関係団体等を対象としたキャッシュレス決済に関する研修会等の開催を検討します。

## 取組No. 1 - 4 旅客運送サービスの整備

---

### [現況と課題]

路線バス等の再編が進む一方で、少子高齢化が進行する中歩いて行ける病院や商店が少ない龍神村において、地域住民の生活に欠かせない移動手段確保の重要性は、今後ますます高まるものと予想されます。

また、龍神村を訪れる国内外の観光客の皆さんが快適に移動できる交通手段の確保も課題となっています。

### [取組主体]

NPO法人ええとこねっと龍神村、田辺市 等

### [取組年次]

短期

### [取組概要]

NPO法人ええとこねっと龍神村が中心となり、龍神村にふさわしい旅客運送事業の実施を目指します。

## 取組No. 1－5 「龍神そば街道」の推進

---

### [現況と課題]

村内の休耕田を活用した事業として、NPO法人ええとこねっと龍神村が中心となり、かねて龍神村で栽培されているそばを活用した事業が展開されており、龍神村内の宿泊施設や道の駅等が提供する一般的な「そば料理」に加え、そば粉を活用したパンや菓子などのメニュー開発及び販売も行われ、人気を呼んでいます。

一方で、労働力不足や動物による食害、台風による被害など、そば粉の生産上の課題があります。

### [取組主体]

NPO法人ええとこねっと龍神村、龍の里づくり委員会 等

### [取組年次]

短期～中期

### [取組概要]

1. NPO法人ええとこねっと龍神村と連携し、地域内の飲食店等で多彩な「そばメニュー」の食べ歩きができる「龍神そばフェス」を、そばの花が咲く平成31年9月頃の開催を目標として検討します。
2. 龍神そばを楽しめる店舗を掲載した「龍神そば食べ歩きマップ」の作成を検討します。
3. そばの栽培や収穫等が体験できる場の検討を行います。
4. そば栽培の担い手の育成や作付の増加につながる方策の研究を進めます。

## 取組No.1－6 レンタサイクル事業の整備

---

### [現況と課題]

観光地を訪れた人々が気軽に街を周遊する方法にレンタサイクルがあります。

特に地域が広大で見どころが点在している龍神村においては、徒歩による観光が困難なため、その対策として、商工会青年部を中心にレンタサイクルの整備を研究しています。

### [取組主体]

龍神村商工会、龍神村開発公社、田辺市 等

### [取組年次]

長期

### [取組概要]

事業実施についてのニーズや、運営方法、行政による支援、既に季楽里龍神で実施しているレンタサイクルとの連携等について研究し、引き続き検討していきます。

## 取組No. 1－7 龍神材を活用した木製看板等の設置推進

---

### [現況と課題]

龍神村は豊富な森林資源に支えられた県下でも有数の林業地域で、村から産出される木材は「龍神材」として有名です。また、龍神材による木工家具やチェンソーアートなどの創作品も広く知られ、高い評価を受けています。

さらに、和歌山県が推進し、企業や労働組合が森づくりを実践する「企業の森」事業へも積極的に参画しています。

このような龍神村の木や森林のイメージを活かした木製看板や案内表示板の設置を推進することにより、村の景観整備に取り組むとともに、龍神村のイメージアップと商業等の活性化につなげて行く必要があります。

### [取組主体]

龍神村商工会、フォレスト・ウッド協同組合 等

### [取組年次]

短期

### [取組概要]

1. 龍神材を活用した木製看板等による景観整備を進めるため、龍神村内の店舗等を対象として、改修費に対する補助制度の創設を提案します。
2. 龍神行政局等をはじめとした村内の公共施設に龍神材による木製看板や木製の案内表示板を設置します。

## 取組No. 1－8 龍神温泉街の道路修景整備

---

### [現況と課題]

日高川の溪流沿いに旅館が軒を並べる龍神温泉街は、紀州徳川家の保養温泉地として栄えた由緒ある温泉地ですが、電柱やアスファルト舗装により景観が阻害されている状況にあります。

龍神温泉の旅館でいにしへの風情を楽しむ宿泊客はもとより、近年、街を散策して自然に親しんだり、地域の建築物に親しんだりする「街歩き観光」や、写真を撮影してSNSに投稿するなどの旅の楽しみ方が一般的になる中、龍神村を訪れた人々が足を止め、街歩きを楽しめる、古い歴史と伝統や「日本三美人の湯」のイメージを活かした修景整備が必要です。

### [取組主体]

田辺市、龍神観光協会、龍神温泉協会 等

### [取組年次]

中期～長期

### [取組概要]

1. 電線の地中化、街並みに合わせた外灯の設置や石畳の整備等による龍神温泉のイメージに適応した修景整備を提案します。
2. 修景整備は、行政と地域住民・事業者との協働により実施することを基本とします。

## 取組No.1－9 アート作品や創作品等が楽しめる場と景観づくりの推進

### [現況と課題]

龍神村には、定住する作家・アーティストの皆さんによる多彩な創作品や芸術品がありますが、来訪者がそれらを気軽に鑑賞したり体験したりできる場がほとんどありません。また、このような創作品や芸術品、龍神特有の龍や木のイメージなどは村の景観資源としても十分に活かされていないのが現状です。

そのため、村が誇るこうした創作品や芸術品等、龍神ブランドの体験・発信拠点となる施設の整備及びアート作品等、村の資源を活かした特徴的な景観づくりの推進を提案します。

### [取組主体]

龍の里づくり委員会、龍神村商工会、龍神観光協会、田辺市、各区 等

### [取組年次]

中期

### [取組概要]

1. 村が誇る地域資源の発信拠点として、芸術品や創作品の鑑賞・購入、食やワークショップなど、龍神ブランドが体験できる施設の整備を検討します。
2. 拠点となる施設は村内の遊休施設の活用を想定し、展示・体験のコンテンツ、維持管理方法、運営体制、費用対効果等についての研究を行います。
3. 取組No.1－7の龍神材を活用した木製看板等の設置推進と併せ、アート作品等、村の資源を活かした沿道景観づくりを提案します。
4. 取組の推進に当たっては、村内の作家やアーティストの皆さんの意見を聞くとともに、大阪芸術大学との連携も検討します。
5. 資金調達にはクラウドファンディング等の手法を検討します。

## 取組No.1－10 伝統的食文化の保存・継承

---

### [現況と課題]

龍神村には、地元の米や番茶を使った茶がゆ（おかいさん）、柚子に味噌を詰めた保存食の柚べし、里芋や山菜、豆腐、こんにゃく、鮎・アマゴなどの川魚を使った田舎料理、漬物など、村の自然や文化を背景とした食文化が今も残っています。

しかし、一方では食材の流通の変化、インスタント食品、ファストフードやコンビニ食の普及、伝統食を知る人たちの高齢化、家族構成の変化に伴い親から子への継承する機会が減少していること等により、伝統的な食文化は徐々に失われつつあります。

こうした背景のもと、村に根差した優れた食文化を保存し、次の世代に継承していくことが必要と考えます。

### [取組主体]

龍の里づくり委員会、田辺市 等

### [取組年次]

短期～中期

### [取組概要]

1. 龍神村風土's（フーズ）研究会や龍神村生活改善友の会が行った活動や研究成果を通して村の伝統食の魅力について学習します。
2. 食育事業や体験ツアー、情報発信等を通じた食文化継承の取組を検討します。
3. 美味しい茶がゆを炊くまでの知識と技術を持った人だけが名乗れる「茶がゆマイスター」制度などの創設など、伝統的食文化を後世に残すための仕組づくりを検討します。

## 2. 新たなUJIターン施策の検討

### (1) 背景

龍神村は、市町村合併前から「龍神国際芸術村構想」やアトリエ付き住宅の取組等を通じ、移住・交流施策に積極的に取り組んできました。こうした取組に加え、先に移住した人による地道な定住相談や定住後の支援などが行われてきた結果、多彩な移住者が定住し、地域に活気をもたらしています。

人口減少時代において、今後とも移住希望者に龍神村を選択してもらえるよう、地域の魅力を効果的に発信するとともに、移住希望者の多様なニーズに対応した取組を行う必要があります。

### (2) 具体的な取組の提案

#### 取組No.2－1 移住希望者向け地域情報の発信

---

##### [現況と課題]

市町村合併前の旧龍神村国際芸術村やアトリエ付き住宅、合併後の移住受入支援の取組や先住者によるきめ細かなバックアップもあり、龍神村には多くの移住・定住者の皆さんが生活しています。

人口減少や高齢化が進む中、今後も龍神村への移住を促進していくため、総合的な情報発信を行う必要があります。

##### [取組主体]

龍の里づくり委員会、田辺市、龍神観光協会、龍神村商工会 等

##### [取組年次]

短期

##### [取組概要]

市が実施している移住希望者向けの情報発信に加え、取組No.4－1の「龍神村の情報を集めたハブとなるウェブサイト」で構築するサイト上において、村の魅力とともに、移住場所を選択する際の参考となる住宅、公共施設、教育、子育て、商店等の生活情報、先住者の声、支援策など、より詳細な移住希望者向けの情報を発信します。

## 取組No.2－2 移住体験住宅の整備

---

### [現況と課題]

都市部には、地方で暮らしてみたいと考えている人が多くいます。しかし、移住を検討している人にとって、ホテル等を利用して龍神村の生活を体験するのは、経済的に大きな負担となります。

田辺市の定住支援施策に「田辺市短期滞在施設」制度がありますが、本市への定住希望者等を対象とした制度であるため、複数の移住先を検討している人や気軽に龍神村を体験しようとする方には使いづらいのが現状となっています。

### [取組主体]

田辺市、龍の里づくり委員会 等

### [取組年次]

中期

### [取組概要]

移住を検討している人が、数泊～数か月程度龍神村での生活を体験することができる移住体験住宅の整備を提案します。

### 3. 既存イベントの整理・見直し

#### (1) 背景

龍神村ではこれまで多くのイベントが開催され、地域の情報発信の場、コミュニティの醸成の場、集客の場、地域内外の皆さんが楽しめる賑わいの場として大きな役割を果たしてきました。

一方で市町村合併に伴う市域の拡大、行政と地域との関わりの変化、人口の減少、関係スタッフの「イベント疲れ」等を背景に、イベントの在り方が問われています。また、本調査研究報告においても、魅力的で活力あふれる龍の里づくりに向け、新たな多くの取組を提案することとしています。

こうしたことを背景に、限られた予算とマンパワーのもと、各イベントが地域内外との交流促進の場として効果的なものとなるよう、また、龍神村を効果的に発信していける場となるよう、既存イベントの内容を検証し、その在り方を検討する必要があります。

#### 龍神村内で行われている主なイベント

1月	南国紀州の雪遊び
3月	観燈祭
6月	龍神村ほたる祭り
6月	高野山・龍神温泉ウルトラマラソン
6月	シマノジャパンカップ鮎釣り選手権関西A大会
9月	龍神いなかまつり
10月～11月	ヴェトロモンターニャ高野山
10月	どらごん縁日
10月	紅葉トレッキング
11月	関西実業団対抗駅伝競走大会
11月	翔龍祭（林業まつり・文化祭）
12月	龍神温泉木の郷マラソン大会

## (2) 具体的な取組の提案

### 取組No.3-1 既存イベントの整理・見直し

---

#### [現況と課題]

龍神村内で開催されているすべての既存イベントを検証し、龍神村を効果的に発信していける場となるよう、内容の検討を行う必要があります。

#### [取組主体]

龍の里づくり委員会、田辺市、各イベント主催団体又は実行委員会 等

#### [取組年次]

短期

#### [取組概要]

1. 見直しの対象とするイベントは次のとおりとします。
  - (1) 龍神村において定期的に実施されているイベント（学校又は社会教育のためのものを除く）。単年度実施のものを除く。
  - (2) 市が支援を行っているイベント（人的支援を含む）。
2. 平成32年度以降実施されるイベントに反映されるよう、以下の流れに沿ってイベントの見直し作業を行います。
  - (1) 龍神行政局内の各イベント担当課等においてイベントのリストアップを行います。
  - (2) 龍の里づくり委員会企画部会正副部長・正副班長会議において、各イベントに対しての聞き取りを行い、意見書をまとめます（平成31年春頃までに複数回開催）。
  - (3) 龍の里づくり委員会において意見書の報告を行います。
  - (4) 各イベントの主催団体又は実行委員会等において、各イベントの平成32年度以降におけるイベント内容の参考とするよう、平成31年夏までに検討を行います。

## 4. 効果的な情報発信の在り方の検討

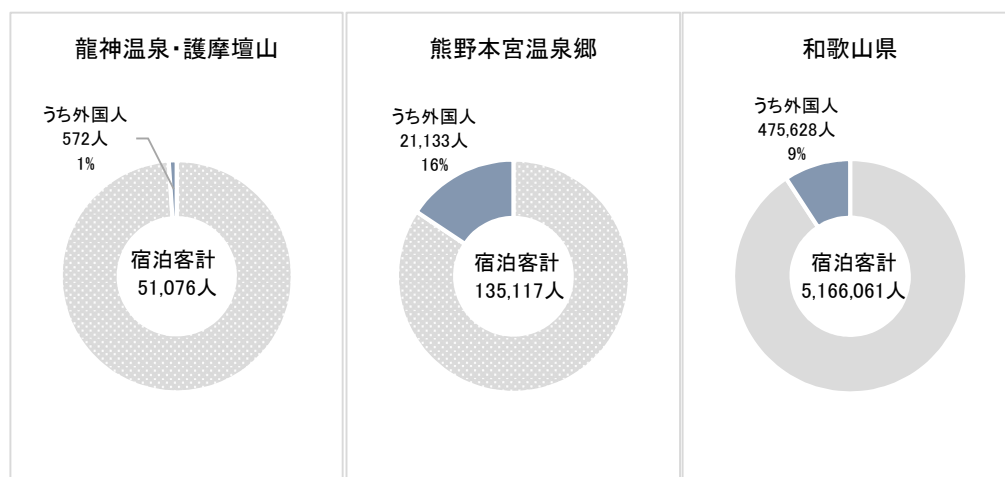
### (1) 背景

インターネットの普及以降、観光や地域情報の収集源が旅行雑誌やガイドブックからウェブサイトに、旅館や航空チケットはオンライン予約に、口コミ情報やSNSで閲覧した映像が旅行のきっかけになる傾向が強くなるなど、情報環境が大きく変化していますが、行政ほか各機関による情報発信はその多くが「行事日程」や「観光案内」などのお知らせ型情報の発信に留まっているのが現状です。

また、「交流人口」や「関係人口」の拡大を図るため、龍神村の魅力をどうわかりやすく伝えていくかということも課題となっています。

和歌山県の観光客動態調査報告書（平成 29 年）においても、龍神温泉・護摩壇山の観光客に占める外国人の割合は和歌山県全体や熊野本宮温泉郷と比べても低く、今後さらに進めて行くべきインバウンド観光促進のためにも、龍神村の魅力の発信やブランドイメージ向上のための取組が求められています。

平成 29 年度観光客（宿泊客）に占める外国人の割合（資料：観光客動態調査報告書）



## (2) 具体的な取組の提案

### 取組No.4-1 龍神村の情報を集めたハブとなるウェブサイトの構築

---

#### [現況と課題]

龍神村に関する情報を得るためにネット検索を行ったが、なかなか目的のページにたどり着けない、タイムリーな情報が掲載されていない、情報が古い等の声を聞きます。

ネットによる情報発信内容で集客や売り上げを左右するといわれる昨今、「わかりやすく」「動きのある」「魅せる」ウェブサイトの構築は重要な課題となっています。

#### [取組主体]

龍の里づくり委員会、龍神観光協会、龍神村商工会 等

#### [取組年次]

短期

#### [取組概要]

1. 平成31年中に龍神村の観光、芸術品、創作品、産業、自然等の情報を効果的に発信するため、イメージを統一したハブとなるウェブサイトを構築します。
2. ウェブサイトのデザインはシーズン毎にアピールしたい内容が一目で目に入るなど、目を引くものとするとともに、掲載する情報を整理し、できるだけわかりやすく情報を提供できるものにします。
3. 動画やストリートビューの効果的な活用を検討します。
4. 当初はWIX（無料ホームページ作成ツール）等を活用し、できるだけ費用のかからない方法でウェブサイトを構築し、運用を進める中で課題や必要性が生じた場合は、有料でのホームページ作成を検討します。

## 取組No.4－2 SNSを活用した情報発信

---

### [現況と課題]

双方向性や拡散性等、発信のスピードなど、その特長を活かしたSNSによる情報発信に取り組む企業や団体が増えています。

例えば、写真投稿SNSであるInstagramは、写真で地域の魅力をアピールすることができ、龍神村への観光を検討している人の下調べや、観光客が食事や遊びの場所を探す際の参考にするなど、利用が大きく広がっているように、ソーシャルメディアによる情報発信は今後ますます重要になるものと思われます。また、動画配信サービスの利用は今後有力な情報発信手段になることが予想されます。

### [取組主体]

龍の里づくり委員会 等

### [取組年次]

短期

### [取組概要]

1. 平成30年10月から試行運用している龍の里づくり委員会公認Instagram「和歌山県龍神村のある風景」(@dragongodvillage\_japan)の本格運用をスタートします。
2. 龍の里づくり委員会公認Instagram「和歌山県龍神村のある風景」と取組No.4－1で構築するウェブサイトとの連携を図ります。
3. Facebook等他のソーシャルメディアの活用も検討します。
4. 動画配信による情報発信を検討します。

## 取組No.4－3 村内施設周遊チケットの作成・販売

---

### [現況と課題]

高速道路網の整備により、都市部から地方へのアクセスが便利になった反面、観光客の行動が広域的になり、一つの観光地での滞在時間が短縮されるという現象が起きています。また、移動時間の短縮により日帰り圏になってしまい、観光入込客数に比して宿泊客が減少しているのが現状です。

そのため、龍神村における滞在時間延伸のための魅力的なコンテンツづくり及び情報発信が必要となっています。

### [取組主体]

龍の里づくり委員会、龍神観光協会、龍神温泉協会 等

### [取組年次]

中期

### [取組概要]

1. 訪問客の滞在期間延伸のため、龍神村内の各温泉施設等に入れる周遊チケット（例：3,000円で一週間有効）の企画を検討します。
2. 本宮町の湯の峰温泉や川湯温泉等とも連動した企画を検討します。
3. 企画を観光協会や協力店舗等に対し提案します。

## 取組No.4－4 看板や案内表示板等の多言語表記の推進

---

### [現況と課題]

龍神村を訪れる外国人観光客の利便性や満足度を向上させるため、看板や案内表示板等の多言語表記、多言語に対応した観光パンフレットの作成やウェブページの構築など、龍神村が有する観光資源等を国内外に効果的に発信する取組が求められています。

### [取組主体]

田辺市、龍神観光協会、龍神村商工会、フォレスト・ウッド協同組合 等

### [取組年次]

短期～中期

### [取組概要]

1. 公共施設等が設置する看板や案内表示板の多言語表記のさらなる取組を市に対し提言します。
2. 取組No.1－7で提案している「龍神材を活用した木製看板等」改修費に対する補助金の補助要綱には、できる限りローマ字表記を施す旨の条件を入れるものとします。
3. 多言語に対応した観光パンフレットの作成やウェブページの構築を検討します。

## 取組No.4－5 農林産品販売情報の充実

---

### [現況と課題]

龍神村を訪れた人から、地元産の安価で安全な農林産品を購入したいという声を聞きます。

しかし、龍神村には農林産品の直販所がなく、また、ほとんどの農家が小規模なため、各農家による販売ルートの開拓も困難であるのが現実です。

また、訪問者には点在している無人販売所の場所もわかりづらいため、買いたくても買えない現状もあります。

### [取組主体]

龍の里づくり委員会 等

### [取組年次]

短期～中期

### [取組概要]

1. 取組No.4－1「龍神村の情報を集めたハブとなるウェブサイト」で構築するサイト上において、農林産品の販売を行っている道の駅等の情報や龍神村内の無人販売所の情報を収集し、発信します。
2. 無人販売所マップの作成を検討します。

## 取組No.4－6 大阪芸術大学との連携

---

### [現況と課題]

龍神村に在住している国際的な水中カメラマン・赤木正和さんは、大阪芸術大学で教鞭を執られています。また、墜落した米軍爆撃機B29と村民による慰霊について取材したドキュメンタリー映画「轟音」は、同大学映像学科の学生が平成24年に制作し、監督を務めた笠原栄理さんがその後再編集に携わられた経過があります。このように大阪芸術大学は以前から龍神村と関係が深い大学です。

また、龍神村には作家、木工職人、料理人等の芸術家が多く移住・定住していることから、美術学科、デザイン学科、工芸学科、建築学科、写真学科、映像学科等14の学科を有する西日本最大規模の総合芸術大学である同大学との親和性は高いものと思われます。

### [取組主体]

龍の里づくり委員会、田辺市 等

### [取組年次]

短期

### [取組概要]

1. 大阪芸術大学と市が連携し、地域外からの新たな目線による地域資源の発見や再評価を行います。
2. 教員及び学生の参画による専門的な知見に基づく助言・指導、写真や動画素材の撮影、デザイン、情報発信等を通じ、魅力的で活力あふれる龍の里づくり事業の促進を図ります。

## 5. 空き家・遊休施設の活用を検討

### (1) 背景

近年、人口減少や高齢化の進展に伴う空き家や遊休施設が増加しています。

このような空き家や遊休施設を放置しておくことは、景観上や防犯上の問題からも望ましいものではありません。一方でこうした空き家や遊休施設には、昔の文化や建築様式を色濃く残したものもあり、活用方法によっては地域コミュニティの再生や文化の保存につながることを期待されます。

そこで、こうした空き家や遊休施設を龍神ブランドの地域資源の展示紹介や体験ができる施設として有効に活用できないか検討しました。

### (2) 具体的な取組の提案

#### 取組No.5－1 遊休施設等を活用した龍に関する展示施設の整備

---

##### [現況と課題]

龍には「水を司る神」、「強さの象徴」、「霊力がある存在」、「運気を上げてくれる神秘的で不思議な生き物」等のイメージがあり、中国などでは装飾品として使われるほか、世界的にも映画やアニメ、ゲーム等の題材として常に高い人気を誇ります。

こうした龍神村の龍のイメージを活かした取組を進めます。

例えば高知県四万十町には四万十川のかっぱをイメージした「海洋堂かっぱ館」があり、公募した「四万十カッパ造形大賞」の全応募作品が所蔵され、常時500点以上のカッパ作品が展示されています。

この「海洋堂かっぱ館」をモデルにした、龍神内外から集めた龍のフィギュアや絵画等を一挙に展示した「龍に出会える」施設の整備を検討します。

##### [取組主体]

田辺市、各区、龍の里づくり委員会、龍神観光協会、龍神村商工会 等

##### [取組年次]

中期

**[取組概要]**

1. 施設の内容や運営方法、展示物の維持管理方法等について研究を行います。
2. 取組No.1－9「アート作品や創作品等が楽しめる場と景観づくりの推進」の検討とあわせて施設整備の研究を行います。

## 取組No.5－2 龍神版「アルベルゴ・ディフーズ」(分散型ホテル)の検討

### [現況と課題]

古民家や空き家等を利用したゲストハウスの開業が龍神村でも相次いでいます。

こうした状況を背景に、ゲストハウス等の宿泊施設と周辺の飲食店や土産物店等が地域ぐるみで観光客をもてなす龍神版「アルベルゴ・ディフーズ」のシステム構築を検討します。

※ アルベルゴ・ディフーズ・・・何軒かの空き家をそれぞれホテルのフロントや客室、レストラン等、地域全体を宿に見立てて旅行客をもてなすイタリア発祥の「分散型ホテル」。

### [取組主体]

龍の里づくり委員会、龍神観光協会、龍神村商工会 等

### [取組年次]

中期

### [取組概要]

1. 宿泊施設と周辺の飲食店等をつないで、宿泊者が龍神村の各施設を回遊できるシステムの構築について研究します。
2. 宿泊者が活用できるホテルマップの作成を検討します。
3. 空き家の有効活用ができる取組を研究します。

## 2 龍神ブランドを活用したプロジェクトの提案

田辺市が設定した5本の調査研究の柱の枠にとらわれない龍神ブランドを活用した新規プロジェクトを提案しました。

### 1. 「(仮称) 株式会社 龍神村」の設立

#### (1) 背景

本調査研究報告書で提案しているような多彩な取組を行っていくためには、官民での協働を基本としつつも、地域住民自身が主体的・持続的に活動することが不可欠です。そのためには、個人や任意団体よりも法人格を取得して取り組む方が、事業を実施する上での信用の確保や契約上の対応が行いやすくなります。

その上で、地域に根差した「稼ぐ」経済活動を積極的に行っていくという観点から、龍神村民の出資による株式会社を新たに設立し、各種事業を展開していくものとします。

#### (2) 具体的な取組の提案

##### 取組No.6-1 「(仮称) 株式会社 龍神村」の設立

---

###### [現況と課題]

龍の里づくり委員会で提案された各種取組を推進するには、市や各種団体の取組に加え、「実働部隊」の一つとして、柔軟かつスピーディーに「稼ぐ」取組を展開しやすい組織づくりが必要となります。

###### [取組主体]

出資者、龍の里づくり委員会 等

###### [取組年次]

短期

###### [取組概要]

龍神村の人材や資源を活用することにより外貨を稼ぎ、村内の経済活動を活性化させ、魅力的で持続可能な村づくりを目指すため、村民の出資によって「(仮称) 株式会

社 龍神村」を設立します。

龍神村における観光交流、商品開発及び販売、情報発信、施設の管理運営等の事業を実施するための株式会社を設立します。

設立当初は以下の事業実施を想定しています。

- 幻の熊野古道「奥辺路ルート」の開発（奥辺路プロジェクト）
- 森林ツーリズム事業
- 「(仮称) 龍王易」開発事業
- 木糸・木布活用手芸開発事業

## 2. 幻の熊野古道「奥辺路ルート」の再整備（奥辺路プロジェクト）

### (1) 背景

「奥辺路」とは、高野山から笹野茶屋峠、護摩壇山、龍神温泉、丹生ノ川を經由し、熊野本宮大社へと続く古道（熊野古道）で、世界遺産には登録されていませんが、高野山から熊野三山をつなぐ修験者の山岳信仰の道として、「幻の熊野古道」と言えるほど歴史的に意義深いルートです。

このルートを再整備し、世界遺産熊野古道と連携を図っていきます。また、今までは、点と点であった龍神温泉や龍神の観光、歴史、産業を道で繋ぎ一体的な龍神ブランドとして展開を図っていきます。

このように、奥辺路を「幻の熊野古道」として発信し、龍神村の歴史的な価値を高め、龍神温泉を中心とした観光業をはじめ、すべての産業の活性化につなげていきます。

### (2) 具体的な取組の提案

#### 取組No.6－2 幻の熊野古道「奥辺路ルート」の再整備

---

##### [現況と課題]

景観的にも歴史的にも意義深い「奥辺路」ですが、一般にその価値がほとんど知られていないことから、このルートを再整備し、地域資源として全国に発信していくものです。

##### [取組主体]

龍の里づくり委員会、田辺市、(仮称)株式会社龍神村、田辺市熊野ツーリズムビューロー 等

##### [取組年次]

短期～中期

##### [取組の概要]

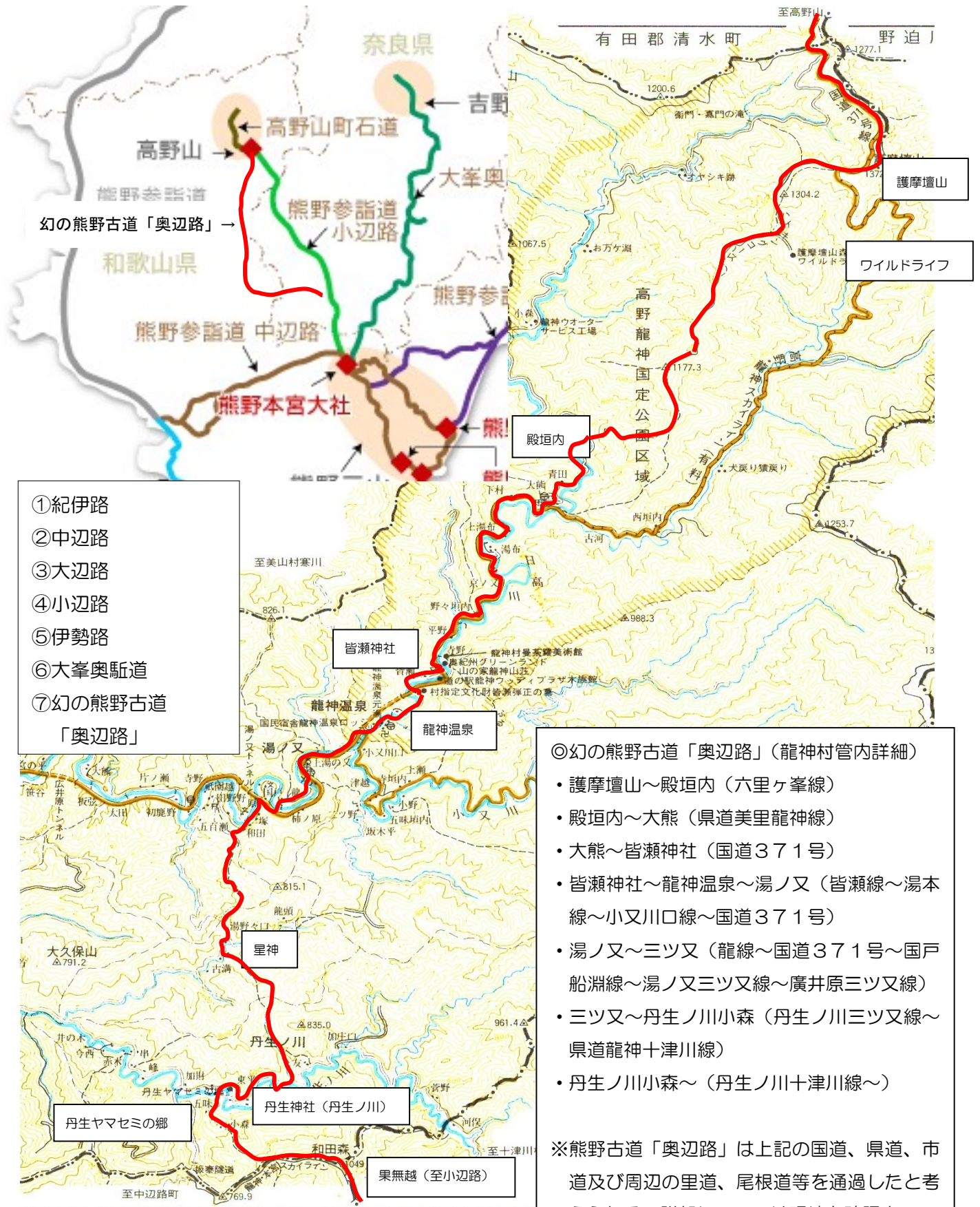
「幻の熊野古道」として「奥辺路ルート」を再整備し、以下のとおり観光商品としての開発を行っていきます。

1. 奥辺路ルートに関する史料や聞き取り、実地調査等をもとにルート調査を行い

ます。

2. 市と連携し、ルート上の地権者や地元住民の皆さんからの理解・協力をいただきます。
3. 地元ボランティアやイベント等による道普請により、ルートの整備やウォーキングマップの作成を行います。
4. 将来的には（仮称）株式会社龍神村や田辺市熊野ツーリズムビューロー等と連携し、観光商品としての開発を目指します。

# 幻の熊野古道「奥辺路」ルート図



- ①紀伊路
- ②中辺路
- ③大辺路
- ④小辺路
- ⑤伊勢路
- ⑥大峯奥駟道
- ⑦幻の熊野古道「奥辺路」

◎幻の熊野古道「奥辺路」(龍神村管内詳細)

- ・護摩壇山～殿垣内 (六里ヶ峯線)
- ・殿垣内～大熊 (県道美里龍神線)
- ・大熊～皆瀬神社 (国道371号)
- ・皆瀬神社～龍神温泉～湯ノ又 (皆瀬線～湯本線～小又川口線～国道371号)
- ・湯ノ又～三ツ又 (龍線～国道371号～国戸船淵線～湯ノ又三ツ又線～廣井原三ツ又線)
- ・三ツ又～丹生ノ川小森 (丹生ノ川三ツ又線～県道龍神十津川線)
- ・丹生ノ川小森～ (丹生ノ川十津川線～)

※熊野古道「奥辺路」は上記の国道、県道、市道及び周辺の里道、尾根道等を通じたと考えられる。詳細については現地を確認中。

## (参考) 幻の熊野古道 奥辺路(おくへち)

木の国・紀州の山の奥、日本三美人の湯のひとつ「龍神温泉」。役小角が見出し、弘法大師・空海が湯宿を開き、紀州徳川家が庇護した歴史あるこの温泉は、修験者が高野山と熊野三山を行き来する「道」の通過点でした。その道の名前は「奥辺路」。龍神村の歴史に記し伝えられず、忘れ去られたその名前を、隣町の清水町誌から我々が改めて知ったのは平成 27 年春のこと。地域の「古老」と呼ばれる人たちが現在に伝え繋いでくれていました。現在、世界遺産に登録されている「熊野古道」に数えられていませんが、「奥辺路」はその性質上、紛れもなくもう一本の「熊野古道」でした。

### ■熊野古道の定義

熊野古道とは平安末期から熊野三山参詣のために通行された古い道のこと。

京都から大阪を通り海岸伝いに熊野に向かう①「紀伊路(熊野街道とも)」が紀州田辺で分岐し、山中を本宮大社、那智大社、速玉大社に向かう②「中辺路」と、海岸伝いに那智大社と結ぶ③「大辺路」が一般に知られています。また大和国内を通過する④「小辺路」、江戸時代にお伊勢参りの延長で熊野詣でに使われた⑤「伊勢路」も熊野古道に数えられ、修験者が吉野と熊野を往来した⑥「大峯奥駈道」も性質上、熊野古道であると考えられる場合もあります。

### ■奥辺路のルート

「奥辺路」は高野山から笹の茶屋峠、護摩壇山、龍神温泉、丹生ノ川を經由し、熊野本宮大社へと続く道。今でも大部分は未舗装で古道の姿を残しています。丹生ノ川からは、平安末期、上皇の熊野参詣途上に、物資を供給するため、中辺路の近露に合流する道と、江戸時代から昭和にかけて生活道としてよく利用された、小辺路の果無峠に繋がる道に分かれます。修験の目的では、見晴らしよく、生命エネルギーに富んだ原生林を尾根伝いに歩く後者が利用されたと推測できます。

### ■奥辺路の意義

「蟻の熊野詣で」と表現されたほど、立場に関わらず都から多くの人が歩き、途上にも九十九王子という信仰対象が形成された紀伊路・中辺路は、謂わば「開かれた参詣道」です。

これに対し、修験者は高野山と熊野を行き来するのに、「小辺路」という最短ルートを利用したと言われており、この「閉ざされた参詣道」も、今ではその歴史的意義と魅力から親しまれています。

しかしながら、修験の道としては、小辺路に負けず劣らず意義深い道が「奥辺路」であったと考えられています。昭和後期に奥辺路・笹の茶屋峠付近で遺構が発掘された「日光

神社」は、鎌倉・室町期に最盛を誇った密教の参拝場であったことが判明したからです。また、修験者にとって役小角や空海という先達が伝説を残した秘湯・龍神温泉が「聖地」の一種と考えられていたことも理由のひとつと言えます。奥辺路が通る有田川町清水の集落に、熊野から高野山へ修験者が歩くことを「順峰」、その逆を「逆峰」という言葉として伝えられていること、龍神村南東部の山中に、安倍晴明の伝説が残されていることも、奥辺路が修験の場であったことの裏付けです。

### ■奥辺路のこれから

閉塞感が蔓延した現代に、再び「巡礼」が流行していますが、古き修験の道の再発見は時代が待望した出来事なのかもしれません。「奥辺路」という秘密めいた名前と、その名に恥じない神秘的な伝承・風景は実に魅力的なものです。

今、龍神村では奥辺路を他の熊野古道と同様に、再び一般の方々に楽しんで歩いて頂けるように整備をしています。

一度忘れ去ってしまったこの道を、実はもう一本あった「幻の熊野古道」として愛して頂けるように。

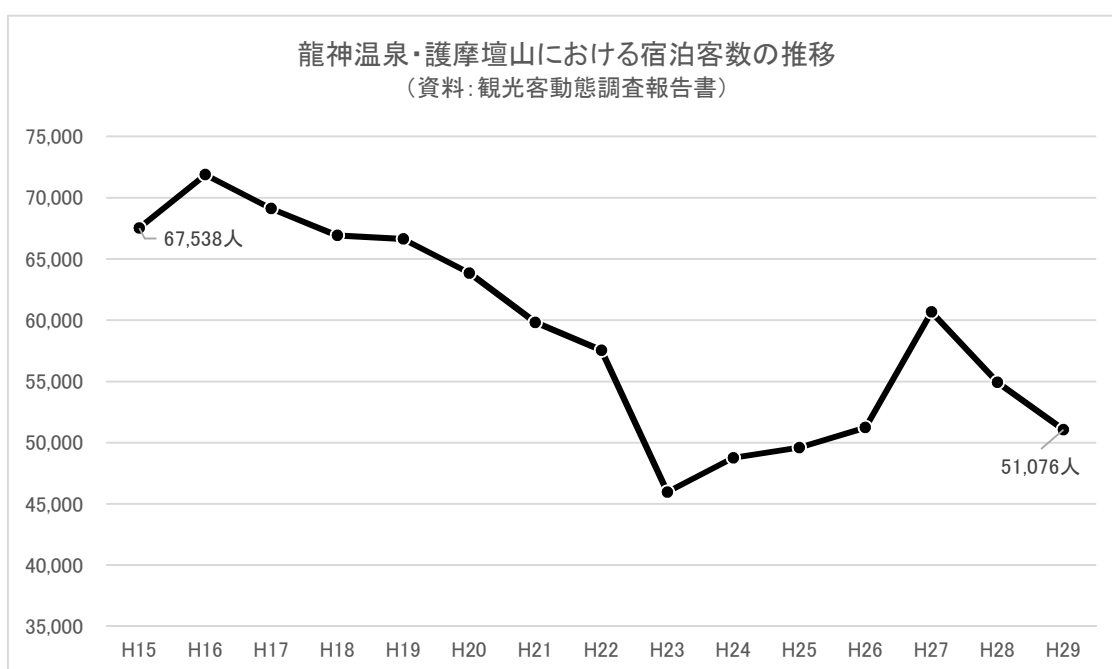
参照：「清水町誌 上巻」「龍神村誌上巻」「清水町文化 1983年6月号」「清水町文化 1985年8月号」

### 3. 森林ツーリズム事業の実施

#### (1) 背景

これまで都市部等からの時間距離が長く、従来は観光客が宿泊していた地域が、広域的な高速交通網の整備により日帰り圏になってしまい、観光消費額が落ち込むという現象が起って既に久しくなっています。

こうした状況において、「ここに泊まってでも体験したい」「ここに泊まってでも過ごしたい」という魅力の発信と創出が求められています。



近年、地域支援、従業員に対する健康支援、ボランティア活動、環境の保護活動など、企業による社会的責任（C S R Customer Service Representative）への取組が大きな潮流となっています。

こうしたこともあり、龍神村の恵まれた森林資源を背景とした「企業の森」の活動に多くの企業や団体の皆さんが取り組まれています。その多くが日帰りでの活動のため、村の経済活動との結びつきが限定的なものになっている現状があります。

一方、村内にはトレッキング、道普請、点在する吊り橋の体験や管理、古民家の改装、河原や山で寝る、田植えや稲刈り等の農作業、木工クラフト、星空観察、清流日高川での川遊びや鮎釣り、滝や溪谷めぐり、ホテルの観察、様々なアート体験等々、豊かな自然や四季折々

の村人の生活をそのまま体験できる素材が豊富にあります。

こうした素材をプログラムに活かした、宿泊客の増加につながる新たな森林ツーリズム事業の展開を図ります。

## (2) 具体的な取組の提案

### **取組No.6－3 森林ツーリズム事業の実施**

---

#### [現況と課題]

「企業の森」等の活動により、毎年多くの企業や労働組合等が龍神村を訪れていますが、その多くが日帰りでの訪問となっているため、宿泊していただけるような仕組みづくりを行うことが重要です。

#### [取組主体]

龍の里づくり委員会、龍神村森林組合、龍神観光協会、田辺市、(仮称)株式会社龍神村、龍神村商工会、田辺市熊野ツーリズムビューロー 等

#### [取組年次]

短期～中期

#### [取組概要]

1. 当初は地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）を活用し、「企業の森」事業に賛同いただいている企業等に対し、体験モニターツアーとして「企業の森」の活動と龍神村での体験を組み合わせた森林ツーリズム事業の展開を図ります。
2. 持続可能な森林ツーリズム事業となるよう、森林組合や観光協会等とも連携し、龍神村の素材を活かしたプログラムを作成するとともに、村の経済活動につながる仕組みをつくります。

## 4. 森林等を活用した自然共生型アウトドアパークの整備

### (1) 背景

古くから龍神村は林業の村として栄え、産出される杉や桧などの木材は木目が細かく美しい「龍神材」として高く評価されてきました。

しかし、現在、長引く木材価格の低迷や就業者の減少や高齢化による林業の担い手の不足により、枝打ちや間伐、保育などの管理が不十分な森林の増加が懸念されています。

こうしたことを背景に、持続可能な観光資源と森林管理事業の一環として、龍神村の森林などの自然環境をそのまま活用した、親子で遊べる自然共生型アウトドアパークの整備を推進します。

### (2) 具体的な取組の提案

#### **取組No.6－4 森林等を活用した自然共生型アウトドアパークの整備**

##### [現況と課題]

龍神村の森林や川、滝などを自然共生型アウトドアパークとして一体的に整備し、森林そのものを持続可能な「観光資源」とした活用の推進を図るものです。

##### [取組主体]

(仮称) 株式会社龍神村、龍神村森林組合 等

##### [取組年次]

中期～長期

##### [取組の概要]

1. 森林そのものを「遊戯施設」と見立てた「自然共生型アウトドアパーク」の整備を推進します。
2. 拠点は旧龍神中学校を想定し、龍神村の住民と訪問者が出会い交流できる場所として整備します。
3. 地元メンバーや企業・団体等にも運営サポーターとして参加を呼びかけます。

## 5. 「(仮称) 龍王易」 開発事業の実施

### (1) 背景

龍神村は「龍」という力強い名前を持ちながら、龍を素材とした観光資源が少ないのが現状です。龍神村の地域イメージの確立と向上を推進するため、「龍」を発信するツールの一つとして、「(仮称) 龍王易」の開発を提案します。

### (2) 具体的な取組の提案

#### 取組No.6－5 「(仮称) 龍王易」 開発事業の実施

---

##### [現況と課題]

「易(えき)」は、紀元前1000年頃に原型が生み出された「龍」との関わりが深い占いで、「易経」として儒教の筆頭経典となったと言われており、現在においても経営者の帝王学として読まれている中国古典です。また、近年はタロットカード感覚で女性にも人気となっています。

天皇は即位前までに易経を学ぶとされていることから、2019年5月の新元号スタートに合わせ、新たに龍と易を融合させた「(仮称) 龍王易」を開発し、話題づくりや観光客の誘致、企業研修の誘致等につなげていきます。

##### [取組主体]

(仮称) 株式会社龍神村、龍神村森林組合、龍神観光協会 等

##### [取組年次]

短期

##### [取組の概要]

1. 龍のイメージを最大限活かした話題づくり商品として「(仮称) 龍王易」カード及び説明書を制作・販売します。カードは龍神村におけるパワースポット、自然、アート、食などの地域資源をPRできるものとしします。
2. 「(仮称) 龍王易アプリ」の作成を行います。
3. 「(仮称) 龍王易」を活用した経営者向けセミナーの実施を検討します。
4. これらの事業実施に当たっては、クラウドファンディングの手法も検討します。

## 6. 木糸・木布活用手芸開発事業の実施

### (1) 背景

森林の適正な維持・管理のために行う重要な作業の一つに間伐があります。

間伐の過程で出た間伐材は、割りばしやチップ等に活用されていますが、龍神村の森林のイメージを活かした高付加価値商品としての展開を考えてみました。

### (2) 具体的な取組の提案

#### 取組No.6－6 木糸・木布活用手芸開発の実施

---

##### [現況と課題]

間伐材から作った和紙を細長く裁断したものを、撚って糸にし「木糸」（もくいと）にしている会社が大阪府阪南市にあります。この木糸には、紫外線を通しにくい、毛羽立ちが少ない等の利点に加え、何より間伐材を活用しているという森林に優しいイメージがあります。

木糸の製造は間伐材の大量消費につながるものではありませんが、この木糸と木糸からつくった「木布」（もくぬの）を活用することにより、付加価値がある新たな商品の開発及びソフト事業の展開を検討します。

##### [取組主体]

(仮称) 株式会社龍神村、龍神村森林組合、龍神村商工会 等

##### [取組年次]

短期

##### [取組の概要]

1. 木糸及び木布を活用し、木や森林のイメージを活かした龍神にふさわしい商品の開発を研究します。
2. 木糸及び木布を活用した「木の手芸」等について研究します。

# 魅力的で活力あふれる龍の里づくり事業 取組一覧表

## 1 龍神ブランド構築の検討

取組	取組年次	取組主体	参照頁
1-1 龍神ブランドのロゴマーク及びキャッチフレーズの作成	短期	龍の里づくり委員会、商工会、観光協会等	10
1-2 龍神ブランドの基準づくりと認定制度の検討	短期	龍の里づくり委員会、商工会、観光協会等	11
1-3 キャッシュレス環境整備の推進	短期～中期	龍の里づくり委員会、商工会、観光協会、各金融機関等	12
1-4 旅客運送サービスの整備	短期	NPO法人ええとこねっと龍神村、市等	13
1-5 「龍神そば街道」の推進	短期～中期	NPO法人ええとこねっと龍神村、龍の里づくり委員会等	14
1-6 レンタサイクル事業の整備	長期	商工会、開発公社、市等	15
1-7 龍神材を活用した木製看板等の設置推進	短期	商工会、協同組合等	16
1-8 龍神温泉街の道路修景整備	中期～長期	市、観光協会、温泉協会等	17
1-9 アート作品や創作品等が楽しめる場と景観づくりの推進	中期	龍の里づくり委員会、商工会、観光協会、市、区等	18
1-10 伝統的食文化の保存・継承	短期～中期	龍の里づくり委員会、市等	19

## 2 U J I ターン施策の検討

取組	取組年次	取組主体	参照頁
2-1 移住希望者向け地域情報の発信	短期	龍の里づくり委員会、市、観光協会、商工会等	20
2-2 移住体験住宅の整備	中期	市、龍の里づくり委員会等	21

## 3 既存イベントの整理・見直し

取組	取組年次	取組主体	参照頁
3-1 既存イベントの整理・見直し	短期	龍の里づくり委員会、市、各イベント主催団体又は実行委員会等	23

取組年次:短期(1～2年)、中期(3～4年)、長期(5年以上かかるもの)  
※いずれも引き続き実施する取組を含みます。

#### 4 効果的な情報発信の在り方の検討

取組	取組年次	取組主体	参照頁
4-1 龍神村の情報を集めたハブとなるウェブサイトの構築	短期	龍の里づくり委員会、観光協会、商工会等	25
4-2 SNSを活用した情報発信	短期	龍の里づくり委員会 等	26
4-3 村内施設周遊チケットの作成・販売	中期	龍の里づくり委員会、観光協会、温泉協会 等	27
4-4 看板や案内表示板等の多言語表記の推進	短期～中期	市、観光協会、商工会、協同組合 等	28
4-5 農林産品販売情報の充実	短期～中期	龍の里づくり委員会 等	29
4-6 大阪芸術大学との連携	短期	龍の里づくり委員会、市 等	30

#### 5 空き家・遊休施設の活用の検討

取組	取組年次	取組主体	参照頁
5-1 遊休施設等を活用した龍に関する展示施設の整備	中期	市、区、龍の里づくり委員会、観光協会、商工会 等	31
5-2 龍神版「アルベルゴ・ディフーズ」(分散型ホテル)の検討	中期	龍の里づくり委員会、観光協会、商工会等	33

#### 6 龍神ブランドを活用したプロジェクトの提案

取組	取組年次	取組主体	参照頁
6-1 「(仮称)株式会社 龍神村」の設立	短期	出資者、龍の里づくり委員会、市 等	34
6-2 幻の熊野古道「奥辺路ルート」の再整備	短期～中期	龍の里づくり委員会、市、(仮称)株式会社龍神村、熊野ツーリズムビューロー等	36
6-3 森林ツーリズム事業の実施	短期～中期	龍の里づくり委員会、森林組合、観光協会、市、(仮称)株式会社龍神村、商工会、熊野ツーリズムビューロー 等	42
6-4 森林等を活用した自然共生型アウトドアパークの整備	中期～長期	(仮称)株式会社龍神村、森林組合 等	43
6-5 「(仮称)龍王易」開発事業の実施	短期	(仮称)株式会社龍神村、森林組合、観光協会 等	44
6-6 木糸・木布活用手芸開発の実施	短期	(仮称)株式会社龍神村、森林組合、商工会 等	45

取組年次:短期(1～2年)、中期(3～4年)、長期(5年以上かかるもの)  
 ※いずれも引き続き実施する取組を含みます。



---

魅力的で活力あふれる龍の里づくり事業調査研究報告書  
平成31年2月

---

発行 龍の里づくり委員会  
事務局 和歌山県田辺市龍神村西 376 番地  
TEL 0739-78-0111 FAX 0739-78-0116

---

龍神

